

2021年度事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日)

NPO 法人グラウンドワーク笠間

1. 総括

2021年度は、不本意ながら昨年に引き続き「コロナに始まりコロナに終わる(終わらな)」厳しい1年となってしまいました。緊急事態宣言・まん延防止重点措置等、目まぐるしく宣言が発出され対応に苦悩しました。加えて、新型オミクロン株の問題が追い打ちをかけ、感染リスクの高い高齢者主体のNPOには悩ましく不安な1年を過ごしました。このような厳しい環境の中、幸いワクチン接種が加速したので「雨が降っても傘をさせばできることがある」との信念でコロナ対策に万全を期して(3蜜・換気・検温等)NPO活動に取組みました。

具体的には、①「まちの駅笠間宿」の賑わい創出 ②「ふれあいサロンかさま〜る」の活性化 ③「笠間ふれあい大学」の運営 ④「笠間ふれあいTV」の運営 ⑤「ともだちハウス」の運営 ⑥「インフォメーションセンター」の指定管理等を重点に、「まちづくり」と「子どもから高齢者まで多様な市民の居場所づくり」に傾注しました。“10年ひと昔”と言われますが、2022年3月には、NPO設立10年の節目を迎えることができました。コロナ渦中でもあり、ささやかな記念行事と記念誌の発行を行いご支援者に配布するとともに「グラウンドワーク笠間」の10年間の軌跡を次世代に継承できるようにしました。

2022年度もコロナ問題は、感染上止まり&ピークアウト時期不透明等、いつになったら終息するかわからない厳しい局面が予想されます。「グラウンドワーク笠間」は、次の20周年を目標に加齢で老いることなく、愚直に一生懸命に、高齢者の矜持を持って社会のひと隅を照らす活動を続けたいと思います。引き続き皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2. 主な事業内容

事業名 (定款記載)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者人数	(D) 受益者範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
①講演会開催 ・講座開設	・「笠間ふれあい大学」の開設 月2~3回のペースで14回開催	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 10人	(D) 笠間市民 (E) 280人	440
②インターンシップ受入と産学連携による協働	・インターンシップ受入 ・教育体験ツアーの受入 ・産学連携の取組み	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D) 大学生 (E) 延べ30人 (3人)	30
③「まちの駅笠間宿」賑わい創出	・フリーマーケット定期開催 ・多様なイベント開催(春夏秋冬) ・「幸せの黄色い広場」の活性化	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)笠間市民等 (E)12,000人	1,183
④屋内イベントの開催と活性化	・「ふれあいサロン」の活性化 ・音楽イベント開催 ・ストリートピアノの開放	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)笠間市民 (E)400人	600
⑤「インフォメーションセンター」の管理運営	・サービス機能と情報発信の強化 ・ママさんとシニアの雇用創出	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 5人	(D)来場者 (E)6,000人	3,283
⑥観光客の誘致	・首都圏からのツアー誘致 ・インバウンドの取組み ・提案型ツアー誘致	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)来場者 (E)延べ10人	10
⑦「ともだちハウス」の管理運営	・安心・安全な管理運営 ・アウトリーチ活動の推進 ・4年目以降の持続対策	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 10人	(D)小学生受入 シニア雇用 (E)17人	21,682
⑧情報発信力の強化	・「笠間ふれあいTV」の定着 ・多様な市民の楽しみ創出 ・多面的情報発信	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 4人	(D)笠間市民 (E)1,200人	176

合計27,404千円